

令和2年度用小学校音楽

---

## 指導計画案 更新版 (2020.5.22)

---

株式会社 教育芸術社

### 【本資料5月22日更新版について】

3月26日、国立教育政策研究所のホームページに、『「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料』が公開されました。その内容を踏まえて、以下、2点を変更のうえ、更新版をアップいたします。

#### 1. 「学習指導要領の内容との関連」について

別資料「年間学習指導計画作成資料」の、「学習指導要領の内容との関連」との関わりが、より明確になるように、各領域・分野の示し方を変更いたしました。当初アップした資料では、軽重を付けずに示していましたが、今回の更新版では、【評価に関わっている】指導事項を太字で示し、それ以外の【学習を進めるうえで関わる】指導事項を細字で示しました。

#### 2. 評価規準について

別資料「年間学習指導計画作成資料」の、「学習指導要領の内容との関連」の見直しに伴い、下記の教材については、新たに評価の観点に加わったため、評価の文章が追加されています。

■ 「ラバーズ コンチェルト」、「ボイスアンサンブル」、「メヌエット」

※評価の文章を一部変更し、その部分は青字で示しました。

### 【本資料について】

・本資料は、教育芸術社発行の令和2年度用小学校音楽教科書「小学生の音楽1～6〈102～602〉」に基づいて作成されています。（用紙サイズは、B4ヨコ向きで、縮小率86%で作成されています。）

### 【本資料の扱い方について】

- ・扱い時数は目安を示したものです。行事などで授業時数に変更が生じてしまう場合には、巻末教材に配当された時数を活用したり、教材の選択や学習活動に軽重を付けたりするなどの調整を適宜行ってください。
- ・ここに掲載されている評価規準は、本資料に示された学習内容に即して設定された一つの参考例です。各学校や児童の実態に応じて評価規準を設定する際の一助としてご活用ください。
- ・本資料では、基本、1時間当たり1～2項目に精選して評価規準を示しています。

### 【2学期制への対応について】

・本資料は2学期制、3学期制にかかわらず、活用することができます。週ごとの授業時数や長期休暇の実施時期などは地域や学校ごとに異なっているため、各校の実態に応じて扱い時数などを調整しながら指導される学期や月を設定してください。

※新型コロナウイルスの感染防止に向けた緊急事態宣言による休校等の影響に対する資料については、弊社HPの「臨時休校に伴う4月以降の授業対応について【小学校】」の内容もあわせてご覧ください。

題材名	1. 歌声をひびかせて心をつなげよう	扱い時数のめやす
		<b>5時間</b>
題材の目標	<p>(1) 音色, 速度, 旋律や歌詞の内容などと曲想との関わりについて理解し, それらを生かした歌い方や, 自然で無理のない響きのある歌い方で歌う技能を身に付ける。</p> <p>(2) 音色, 速度, 旋律や歌詞の内容などと曲想との関わりについて考え, 言葉や旋律のまとまり, 発音や声の出し方などを工夫し, 曲想にふさわしい歌い方について思いや意図をもつ。</p> <p>(3) 曲想や歌詞に込められた気持ちを味わって, 歌声に気を付けながら曲想にふさわしい表現を工夫する学習に主体的に取り組み, 友達と協働して音楽活動をする楽しさを味わう。</p>	
題材の意図	<p>小学校最終学年の学習を, 未来に向かって, 希望をもって進んで行く内容の歌詞をもつ, 明るく前向きな曲でスタートさせます。6年生最初の題材では, 歌詞の内容や曲想にふさわしい表現を工夫しながら, 自然で無理のない, 響きのある歌い方で歌う学習を進めます。</p> <p>5年生までに学習してきたことを生かして, 歌詞の一つ一つに込められた気持ちや情景を感じ取りながら, それにふさわしい歌い方を友達と考え, 表現を工夫していきます。その際, 歌詞だけでなく楽譜に示された旋律の動きやまとまり, 強弱記号, 速度記号などから気付いたことと, 曲想との関わりについて理解できるようにして, 自分たちの思いや意図に反映させて表現していきましょう。</p>	
学習指導要領との関連	<p>A表現 (1)歌唱<b>ア</b>, <b>イ</b>, <b>ウ</b>(7)(イ)(ウ) (2)器楽<b>ア</b>, <b>イ</b>(7), <b>ウ</b>(イ)(ウ)</p> <p>[共通事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本題材で主に扱う音楽を形づくっている要素                     <ul style="list-style-type: none"> <li><b>ア</b> 音色, 速度, 旋律, 強弱, 音の重なり, フレーズ</li> <li><b>イ</b> 呼びかけとこたえ</li> </ul> </li> <li>・音符, 休符, 記号や用語</li> <li>速度記号</li> </ul>	

※本題材で主に扱う音楽を形づくっている要素のうち, **ア**は音楽を特徴付けている要素, **イ**は音楽の仕組み, 核となるものについては, **太字**で示しています。

題材の評価規準		
知識・技能(知・技)	思考・判断・表現(思・判・表)	主体的に学習に取り組む態度(態)
<p>①曲想と音色, 旋律の反復や変化, 歌詞の内容との関わりについて理解している。</p> <p>②ハ長調の楽譜を見て, 呼吸や発音の仕方に気を付けて, 自然で無理のない, 響きのある歌い方で歌う技能を身に付けて歌っている。</p> <p>③曲想と歌詞の内容や旋律の特徴, フレーズ, 強弱との関わりについて理解し, 各声部の歌声や全体の響きを聴きながら声を合わせて歌う技能を身に付けて歌っている。</p> <p>④二部合唱と楽器の音が重なる全体の響きを聴きながら, 声や音を合わせて表現する技能を身に付けて歌ったり演奏したりしている。</p>	<p>①曲想と音色, 旋律の反復や変化, 歌詞の内容との関わりについて考え, 曲の特徴にふさわしい表現を工夫し, どのように歌うかについて思いや意図をもっている。</p> <p>②音色, 旋律の特徴, 音の重なり, 呼びかけとこたえを聴き取り, それらの働きが生み出すよさや面白さ, 美しさを感じ取りながら, 聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え, 曲の特徴にふさわしい表現を工夫し, どのように<b>表現する</b>かについて思いや意図をもっている。</p>	<p>①歌声を響かせて歌う活動に興味・関心をもち, 主体的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。</p> <p>②歌声と楽器の響きとの関わりについて興味・関心をもち, 各旋律の特徴を生かした表現を工夫する学習に主体的に取り組もうとしている。</p>

学習目標	教材名 ○…歌唱 ◇…器楽 ☆…音楽づくり ♪…鑑賞 (共)…共通教材	の 扱 い 時 数	●学習内容	◆評価規準【評価方法】
明るくひびきのある声で歌いましょう。	○明日という大空	1	<p>●曲想を捉え、声の響きに気を付けて歌う。</p> <p>●歌詞の内容や速度、強弱記号を基に、曲想に合った表現の仕方を工夫して歌う。</p>	<p>◆曲想と音色、旋律の反復や変化、歌詞の内容との関わりについて理解している。 【知① 演奏観察, 演奏聴取】</p> <p>◆ハ長調の楽譜を見て、呼吸や発音の仕方に気を付けて、自然で無理のない、響きのある歌い方で歌う技能を身に付けて歌っている。 【技② 演奏観察, 演奏聴取】</p> <p>◆曲想と音色、旋律の反復や変化、歌詞の内容との関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。 【思・判・表① 発言内容, 演奏聴取】</p>
歌詞の表す情景を思いうかべながら、曲想にふさわしい歌声で歌いましょう。	(共)おぼろ月夜	2  3	<p>●情景を想像しながら曲全体の感じを捉える。</p> <p>●旋律の特徴や強弱の変化から曲想を感じ取り、主な旋律の歌い方を工夫する。</p> <p>●歌詞の内容や旋律の特徴を生かした歌い方を工夫し、互いの旋律を聴き合いながら二部合唱する。</p>	<p>◆歌声を響かせて歌う活動に興味・関心を持ち、主体的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。 【態① 行動観察, 発言内容, ワークシート】</p> <p>◆曲想と歌詞の内容や旋律の特徴、フレーズ、強弱との関わりについて理解し、各声部の歌声や全体の響きを聴きながら声を合わせて歌う技能を身に付けて歌っている。 【知・技③ 発言内容, 演奏聴取】</p>
曲想にふさわしい歌声で歌いましょう。	○星空はいつも	4  5	<p>●曲全体の感じをつかみ、歌い方の工夫への思いをもつ。</p> <p>●それぞれの旋律の特徴を捉えながら歌ったり演奏したりする。</p> <p>●主な旋律と下声部の旋律との響き合いを感じ取って二部合唱したり、副次的な旋律を重ねて合唱奏したりする。</p> <p>●互いの演奏を聴き合い、響きの違いや表現の工夫のよさを感じ取る。</p>	<p>◆音色、旋律の特徴、音の重なり、呼びかけとこたえを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように表現するかについて思いや意図をもっている。 【思・判・表② 発言内容, 演奏観察】</p> <p>◆二部合唱と楽器の音が重なる全体の響きを聴きながら、声や音を合わせて表現する技能を身に付けて歌ったり演奏したりしている。 【技④ 演奏聴取】</p> <p>◆歌声と楽器の響きとの関わりについて興味・関心を持ち、各旋律の特徴を生かした表現を工夫する学習に主体的に取り組もうとしている。 【態② 発言内容, 演奏観察, ワークシート】</p>

題材名	2. いろいろな音色を感じ取ろう	扱い時数のめやす
		<b>7時間</b>
題材の目標	<p>(1)音色, リズム, 旋律, 音の重なりなどと曲想との関わりについて理解し, 楽器の音の重なり合う響きを味わいながら音を合わせて演奏する技能や, 声の響きが重なる面白さを生かして音楽をつくる技能を身に付ける。</p> <p>(2)楽器の音色の特徴を生かした演奏の仕方や声の響きの重ね方を工夫し, どのように表現するかについて思いや意図をもったり, 楽器の多様な組合せから生まれる曲や演奏のよさなどを見いだしながら曲全体を味わって聴いたりする。</p> <p>(3)いろいろな音色が重なって生まれる響きに興味・関心をもち, それらを生かして表現したり聴いたりする学習に主体的に取り組む。</p>	
題材の意図		
<p>音色に焦点を当てて曲想と音楽の構造との関わり合いを捉える学習の, 6年間のまとめといえる題材です。</p> <p>いろいろな楽器の音色が組み合わさって生まれる響きの美しさや豊かさなどを味わって音楽を聴いたり, パートの役割を理解して全体の響きの中で音色や強弱などを工夫しながら合奏したりする学習を進めます。</p> <p>また, 声の響きが重なる面白さに注目した音楽づくりの学習では, 擬音語や発音の違いが生み出す声もつよさや面白さについても味わうことができますようにします。</p> <p>音楽をじっくりと聴いてオーケストラの音楽の豊かな響きを味わったり, 友達の演奏をしつかりと聴いて音や声を合わせて表現することの喜びを味わったりすることができるようにしましょう。</p>		
学習指導要領との関連		
<p>A表現 (2)器楽<b>ア</b>, <b>イ</b>(ア)(イ), <b>ウ</b>(ア)(イ)(ウ)</p> <p>(3)音楽づくり<b>ア</b>(ア)(イ), <b>イ</b>(ア)(イ), <b>ウ</b>(ア)(イ)</p> <p>B鑑賞 <b>ア</b>, <b>イ</b></p> <p>[共通事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本題材で主に扱う音楽を形づくっている要素</li> <li>ア <b>音色</b>, リズム, 旋律, 音の重なり</li> <li>イ 反復, 変化, 音楽の縦と横との関係</li> </ul>		

※本題材で主に扱う音楽を形づくっている要素のうち, アは音楽を特徴付けている要素, イは音楽の仕組み, 核となるものについては, **太字**で示しています。

題材の評価規準		
知識・技能(知・技)	思考・判断・表現(思・判・表)	主体的に学習に取り組む態度(態)
<p>①曲想及びその変化と, 楽器の音色と旋律の反復や変化との関わりについて理解している。</p> <p>②曲想と楽器の音色, リズム, 旋律の特徴, 音の重なりとの関わりについて理解している。</p> <p>③各パートの楽器の音色や響きと演奏の仕方との関わりについて理解している。</p> <p>④思いや意図に合った表現をするために必要な, 楽器の音色や響きに気を付けて, 各声部が重なり合う響きを聴き合いながら, 音を合わせて演奏する技能を身に付けて演奏している。</p> <p>⑤いろいろな声の響きや組合せ, またリズムのつなげ方や重ね方の特徴について, それらの働きが生み出すよさや面白さなどと関わらせて理解し, 反復, 変化, 音楽の縦と横との関係を用いて, 全体のまとまりを意識した音楽をつくる技能を身に付けてリズムアンサンブルをつくっている。</p>	<p>①楽器の音色, 旋律の反復や変化を聴き取り, それらの働きが生み出すよさや面白さ, 美しさを感じ取りながら, 聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え, 曲や演奏のよさなどを見だし, 曲全体を味わって聴いている。</p> <p>②楽器の音色やリズム, 旋律の特徴, 音の重なりを聴き取り, それらの働きが生み出すよさや面白さ, 美しさを感じ取りながら, 聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え, 演奏の仕方や全体のバランスを工夫し, どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。</p> <p>③声の音色, リズムの特徴, 音の重なりを聴き取り, それらの働きが生み出すよさや面白さ, 美しさを感じ取りながら, 声の音色を生かして即興的に声のつなげ方や重ね方を表現することを通して音楽づくりの様々な発想を得たり, 音を音楽へと構成することを通して, どのように全体のまとまりを意識した音楽をつくるかについて思いや意図をもったりしている。</p>	<p>①曲想及びその変化と, オーケストラの楽器の音色や旋律の反復や変化との関わりについて興味・関心をもち, オーケストラの響きを味わいながら聴く学習に主体的に取り組もうとしている。</p> <p>②曲想と楽器の音色, リズム, 旋律の特徴, 音の重なりとの関わりについて興味・関心をもち, 友達と協働して, パートの役割や楽器の音色の特徴を生かして演奏する学習に主体的に取り組もうとしている。</p> <p>③声の音色やリズムの特徴, 音の重なりに興味・関心をもち, 声の響きが重なる面白さを生かして音楽をつくる学習に主体的に取り組もうとしている。</p>



題材名	3. 旋律の特徴を生かして表現しよう	扱い時数のめやす <b>3時間</b>
題材の目標	(1) 旋律, リズム, フレーズや歌詞の内容などと曲想との関わりについて理解し, 呼吸や発音の仕方に気を付けて響きのある声で歌う技能や, 音色や響きに気を付けて互いの音を聴いて演奏する技能を身に付ける。 (2) 旋律, リズム, フレーズや歌詞の内容などと曲想との関わりを生かして表現を工夫し, どのように表現するかについて思いや意図をもつ。 (3) 友達と協働して, 旋律の特徴やフレーズを生かした表現を工夫する学習の楽しさを味わいながら, 互いの声や音を聴き合って表現する学習に主体的に取り組む。	
題材の意図	本題材では, 歌詞の言葉のまとまりや, 楽譜に書かれたブレス記号などを参考にしながら, 旋律の特徴やまとまりを生かして豊かに音楽表現する学習を進めます。 これまでに学習してきた, 旋律の音の上がり下がりやリズム, 強弱, 拍子や速度など音楽を形づくっている要素と曲想との関わりや, 歌詞が表す内容と曲想との関わりについて注目しながら, 「言葉のまとまりを生かしてこんなふうに歌いたい」「友達の出す音を聴き合って演奏したい」など, 表現に対する思いや意図をもつことができるようにします。そのうえで, 曲の特徴にふさわしい呼吸や発音の仕方を工夫したり, 互いの声や音を調和させて歌ったり演奏したりすることができるようにしましょう。	
学習指導要領との関連	A表現 (1)歌唱 <b>ア</b> , <b>イ</b> , <b>ウ</b> (ア)(イ) (2)器楽 <b>ア</b> , <b>イ</b> (ア)(イ), <b>ウ</b> (ア)(イ)(ウ) [共通事項] ・本題材で主に扱う音楽を形づくっている要素 ア 音色, リズム, <b>旋律</b> , 強弱, 音の重なり, フレーズ	

※本題材で主に扱う音楽を形づくっている要素のうち, アは音楽を特徴付けている要素, イは音楽の仕組み, 核となるものについては, **太字**で示しています。

題材の評価規準		
知識・技能(知・技)	思考・判断・表現(思・判・表)	主体的に学習に取り組む態度(態)
① 曲想と歌詞の内容や, 旋律の音の動き, リズムの特徴, 強弱との関わりについて理解している。 ② 呼吸や発音の仕方に気を付けて, 響きのある歌い方で歌う技能を身に付けて歌っている。 ③ 曲想と音色, 旋律, 音の重なり, フレーズとの関わりや, リコーダーの音色や響きと演奏の仕方との関わりについて理解し, イ短調の楽譜を見て演奏する技能や, リコーダーの音色や響きに気を付けて演奏する技能, 互いの音を聴いて音を合わせて演奏する技能を身に付けて演奏している。	① 曲想と歌詞の内容や, 旋律の音の動き, リズムの特徴, 強弱との関わりについて考え, 曲の特徴にふさわしい表現を工夫し, どのように歌うかについて思いや意図をもっている。 ② リコーダーの音色, 旋律, 音の重なり, フレーズを聴き取り, それらの働きが生み出すよさや面白さ, 美しさを感じ取りながら, 聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え, 曲の特徴にふさわしい表現を工夫し, どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。	① 曲想とリコーダーの音色や響き, 旋律, フレーズとの関わりについて興味・関心をもち, 旋律の特徴やフレーズを生かして歌ったり, 楽器を演奏したりする学習に主体的に取り組もうとしている。



題材名	4. いろいろな和音のひびきを感じ取ろう	扱い時数のめやす <b>8時間</b>
題材の目標	<p>(1) 旋律、音の重なりや和音の響きなどと曲想との関わりについて理解し、互いの声や音を聴き合いながら合わせて表現する技能や、和音に含まれる音を使って旋律をつくる技能を身に付ける。</p> <p>(2) 和音の響きの移り変わり、短調と長調の響きや旋律の重なり方の違いなどと曲想との関わりについて考え、それらにふさわしい表現の仕方を工夫し、どのように表現するかについて思いや意図をもつ。</p> <p>(3) 和音の響きの違いや移り変わりを生かして表現したり、つくった旋律を発表し合っ て気付いたことなどを伝え合ったりする学習に主体的に取り組む。</p>	
題材の意図		
<p>この題材では、和音の響きの違いやそれらが移り変わることによって生まれる表情の変化を味わうことを中心に学習を進めていきます。これまでにも、様々な活動を通して、旋律や音が重なり合うきれいな響きを感じ取ってきました。</p> <p>合唱の教材では、簡単な三部合唱で歌う部分と、斉唱で歌う部分が設定されているので、和音の響きやその移り変わりの美しさを味わったり、斉唱や合唱といったそれぞれの演奏形態の美しさを味わったりしながら歌うようにしましょう。</p> <p>器楽合奏の教材では、長調と短調の和音の移り変わりやその響きの美しさを味わいながら演奏します。合奏全体の響きを豊かにする和音のパートについて、パートの役割を考えた学習と関連付けるなどして、和音の響きの美しさを味わいながら演奏することができるようにしましょう。また、和音に含まれる音を使った旋律づくりを通して、和音の響きを味わいながら旋律をつくる力も育てます。</p>		
学習指導要領との関連		
<p>A表現 (1) 歌唱 <b>ア</b>, <b>イ</b>, <b>ウ</b>(イ)(ウ) (2) 器楽 <b>ア</b>, <b>イ</b>(ア)(イ), <b>ウ</b>(ア)(イ)(ウ)</p> <p>(3) 音楽づくり <b>ア</b>(ア)(イ), <b>イ</b>(イ), <b>ウ</b>(ア)(イ)</p> <p>〔共通事項〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本題材で主に扱う音楽を形づくっている要素</li> <li>ア リズム, 旋律, 音の重なり, <b>和音の響き</b>, 調</li> <li>イ <b>音楽の縦と横との関係</b></li> </ul>		

※本題材で主に扱う音楽を形づくっている要素のうち、アは音楽を特徴付けている要素、イは音楽の仕組み、核となるものについては、**太字**で示しています。

題材の評価規準		
知識・技能(知・技)	思考・判断・表現(思・判・表)	主体的に学習に取り組む態度(態)
<p>① 曲想と旋律の特徴、音の重なり、和音の響きなどとの関わりについて理解している。</p> <p>② 響きのある歌い方で歌う技能や、各声部の歌声や和音の響きやその移り変わり、伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能を身に付けて歌っている。</p> <p>③ 曲想と楽器の音の重なりや和音の響き、調、音楽の縦と横との関係との関わりについて理解し、音色や響きに気を付けて演奏する技能や、各声部の楽器の音や全体の響きを聴いて、音を合わせて演奏する技能を身に付けて演奏している。</p> <p>④ 旋律の音の動きやフレーズのつなげ方の特徴を理解し、和音に含まれる音や例示されたリズムを基に即興的に旋律をつくったり、反復、変化などを用いて自分なりのまとまりのある旋律をつくったりしている。</p>	<p>① 旋律、音の重なり、和音の響きやその移り変わりを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感覚取ったこととの関わりについて考え、各声部のバランスなど、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。</p> <p>② 楽器の音の重なりや和音の響きの移り変わり、調、音楽の縦と横との関係を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感覚取ったこととの関わりについて考え、和音の響きの違いや旋律の重なり方の違いを生かして曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。</p> <p>③ リズム、旋律の音の動き、和音の響きの移り変わりを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、音やフレーズのつなげ方を工夫し、音を音楽へと構成することを通して、どのように全体のまとまりを意識した音楽をつくるかについて思いや意図をもっている。</p>	<p>① 歌声が重なり合う響きの美しさに興味・関心をもち、互いの声を聴き合いながら歌う学習に主体的に取り組もうとしている。</p> <p>② 長調と短調の和音の響きの違いや美しさに興味・関心をもち、範奏を聴いたり、ハ長調やイ短調の楽譜を見たりして演奏する学習や和音の響きの美しさを味わいながら演奏する学習に主体的に取り組もうとしている。</p> <p>③ 和音の響きやその移り変わりへの興味・関心を深め、和音に含まれる音を使って旋律をつくる学習に主体的に取り組もうとしている。</p>



学習目標	教材名 ○…歌唱 ◇…器楽 ☆…音楽づくり ♪…鑑賞 (共)…共通教材	の 扱 い 時 数	●学習内容	◆評価規準【評価方法】
歌声が重なり合うひびきを感じ取りながら合唱しましょう。	○星の世界	1  2  3	<p>●旋律の特徴や音の重なりを捉える。</p> <p>●旋律の特徴を生かして各パートの旋律を歌う。</p> <p>●主な旋律と副次的な旋律の重なりを聴き合って合唱する。</p> <p>●和音の響きやその移り変わりを感じ取りながら合唱する。</p>	<p>◆曲想と旋律の特徴、音の重なり、和音の響きなどとの関わりについて理解している。</p> <p>【知① 発言内容、行動観察】</p> <p>◆旋律、音の重なり、和音の響きやその移り変わりを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、各声部のバランスなど、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。</p> <p>【思・判・表① 演奏聴取、発言内容】</p> <p>◆響きのある歌い方で歌う技能や、各声部の歌声や和音の響きやその移り変わり、伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能を身に付けて歌っている。</p> <p>【技② 演奏聴取】</p> <p>◆歌声が重なり合う響きの美しさに興味・関心をもち、互いの声を聴き合いながら歌う学習に主体的に取り組もうとしている。</p> <p>【態① 発言内容、演奏観察、演奏聴取】</p>
和音のひびきの美しさを味わいながら演奏しましょう。	◇雨のうた	4  5  6	<p>●短調と長調の響きの違いに気を付けながら、曲の感じをつかむ。</p> <p>●主な旋律をリコーダーで演奏する。</p> <p>●副次的な旋律をリコーダーで演奏する。</p> <p>●短調の和音の響きを感じ取りながら、和音と低音のパートを演奏する。</p> <p>●長調の和音の響きを感じ取りながら、和音と低音のパートを演奏する。</p> <p>●長調と短調の和音の響きの違いを感じ取って演奏する。</p>	<p>◆長調と短調の和音の響きの違いや美しさに興味・関心をもち、範奏を聴いたり、ハ長調やイ短調の楽譜を見たりして演奏する学習や和音の響きの美しさを味わいながら演奏する学習に主体的に取り組もうとしている。</p> <p>【態② 発言内容、演奏観察】</p> <p>◆曲想と楽器の音の重なりや和音の響き、調、音楽の縦と横との関係との関わりについて理解し、音色や響きに気を付けて演奏する技能や、各声部の楽器の音や全体の響きを聴いて、音を合わせて演奏する技能を身に付けて演奏している。</p> <p>【知・技③ 演奏聴取】</p> <p>◆楽器の音の重なりや和音の響きの移り変わり、調、音楽の縦と横との関係を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、和音の響きの違いや旋律の重なり方の違いを生かして曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。</p> <p>【思・判・表② 演奏聴取、発言内容】</p>
和音にふくまれる音を使って旋律をつくりましょう。	☆和音の音で旋律づくり	7  8	<p>●ハ長調の和音と低音を聴いて、響きの移り変わりを確かめる。</p> <p>●和音に含まれる音を使って、示されたリズムで旋律をつくる。</p> <p>●つくった旋律のリズムを工夫して、気に入った旋律に仕上げる。</p> <p>●つくった旋律を、和音伴奏に合わせて演奏し、和音の響きやその移り変わりを味わう。</p>	<p>◆リズム、旋律の音の動き、和音の響きの移り変わりを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、音やフレーズのつなげ方を工夫し、音を音楽へと構成することを通して、どのように全体のまとまりを意識した音楽をつくるかについて思いや意図をもっている。</p> <p>【思・判・表③ 演奏聴取、発言内容、ワークシート】</p> <p>◆旋律の音の動きやフレーズのつなげ方の特徴を理解し、和音に含まれる音や例示されたリズムを基に即興的に旋律をつくったり、反復、変化などを用いて自分なりのまとまりのある旋律をつくったりしている。</p> <p>【知・技④ 演奏聴取、ワークシート】</p> <p>◆和音の響きやその移り変わりへの興味・関心を深め、和音に含まれる音を使って旋律をつくる学習に主体的に取り組もうとしている。</p> <p>【態③ 演奏観察、行動観察、ワークシート】</p>

題材名	5. 曲想の変化を感じ取ろう	扱い時数のめやす <b>7時間</b>
題材の目標	<p>(1)速度、強弱、音の重なり、変化や歌詞の内容などと曲想との関わりについて理解し、互いの声や音を聴き合いながら表現するなど、曲想にふさわしい表現をするために必要な技能を身に付ける。</p> <p>(2)歌詞の内容、速度、強弱、反復や変化などと曲想との関わりについて考え、曲想の移り変わりを味わいながら、どのように表現するかについて思いや意図をもったり、曲や演奏のよさなどを見いだしながら曲全体を味わって聴いたりする。</p> <p>(3)友達と協働して、曲想の変化を味わいながら思いを込めて歌ったり、曲想にふさわしい表現を工夫して合奏したり、曲想の移り変わりを味わいながら聴いたりする学習に主体的に取り組む。</p>	
題材の意図	<p>これまで様々な音楽活動を通して、旋律の音の上がり下がりやリズム、速度や強弱などの音楽を特徴付けている要素や、それらの要素が音楽の仕組みと関わり合うことによって、音楽の表情がより豊かになることを味わってきました。</p> <p>この題材では、5年生に引き続き、これらのいろいろな音楽を形づくっている要素が一体となって醸し出す曲想を味わうための学習を進めます。その際、音楽を形づくっている要素やそれらの働き、パートの役割などを手掛かりにして、作曲者の意図を考えたり曲に対する理解を深めたりしながら、曲想を生かした表現を工夫するようにします。</p> <p>また、鑑賞に当たっては、指揮の動作を取り入れるなどして、音楽を形づくっている要素の関わり合いに注目しながら、曲想やその変化を感じ取って音楽を聴き、友達と話し合う活動などを通して、音楽を聴くことそのものの喜びを深めていくようにします。</p>	
学習指導要領との関連	<p>A表現 (1)歌唱<b>ア</b>、<b>イ</b>、<b>ウ</b>(ア)(イ)(ウ) (2)器楽<b>ア</b>、<b>イ</b>(ア)(イ)、<b>ウ</b>(ア)(イ)(ウ)</p> <p>B鑑賞 <b>ア</b>、<b>イ</b></p> <p>[共通事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本題材で主に扱う音楽を形づくっている要素                     <ul style="list-style-type: none"> <li>ア 音色、リズム、速度、旋律、<b>強弱</b>、音の重なり、調</li> <li>イ 反復、変化</li> </ul> </li> </ul>	

※本題材で主に扱う音楽を形づくっている要素のうち、アは音楽を特徴付けている要素、イは音楽の仕組み、核となるものについては、**太字**で示しています。

題材の評価規準		
知識・技能(知・技)	思考・判断・表現(思・判・表)	主体的に学習に取り組む態度(態)
<p>①曲想と歌詞の内容やリズム、旋律の特徴、強弱、音の重なりとの関わりについて理解している。</p> <p>②自然で無理のない響きのある歌い方で、声を合わせて歌う技能を身に付けて歌っている。</p> <p>③曲想及びその変化と、速度、旋律の反復や変化、強弱、調との関わりについて理解している。</p> <p>④曲想と音色、速度、旋律の特徴、音の重なりなどとの関わりについて理解している。</p> <p>⑤思いや意図に合った表現をするために必要な、音色や響きに気を付けて演奏する技能や、各声部の楽器の音や全体の響きを聴いて音を合わせて演奏する技能を身に付けて演奏している。</p>	<p>①リズム、旋律の特徴、強弱、音の重なりを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。</p> <p>②曲想及びその変化と、速度、旋律の反復や変化、強弱、調との関わりについて理解したことを生かしながら、曲や演奏のよさなどを見いだし、曲全体を味わって聴いている。</p> <p>③音色、速度、旋律の反復や変化、強弱、音の重なりを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら聴き、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。</p>	<p>①言葉のまとまりや語感と旋律との関わりについて興味・関心を持ち、友達と協働して、曲想の変化を味わいながら歌う学習に主体的に取り組もうとしている。</p> <p>②曲想及びその変化と、速度、旋律の反復や変化、強弱、調との関わりについて興味・関心を持ち、曲想の移り変わりを味わいながら聴く学習に主体的に取り組もうとしている。</p> <p>③パートの役割や旋律の特徴に合う楽器を選び、豊かな響きで合奏することに興味・関心を持ち、友達と協働して曲想を生かした演奏を工夫する学習に主体的に取り組もうとしている。</p>

学習目標	教材名 ○…歌唱 ◇…器楽 ☆…音楽づくり ♪…鑑賞 (共)…共通教材	の 扱 い 時 数	●学習内容	◆評価規準【評価方法】
曲想の変化を味わいながら、思いをこめて歌いましょう。	○思い出のメロディー	1          2	●歌詞の内容を感じ取りながら、言葉のリズムやまとまり、旋律の特徴を捉えて歌う。    ●曲想の変化を感じ取り、言葉の繰り返しや強弱を工夫して、言葉のまとまりや語感を生かして二部合唱する。	◆言葉のまとまりや語感と旋律との関わりについて興味・関心をもち、友達と協働して、曲想の変化を味わいながら歌う学習に主体的に取り組もうとしている。 【態① 行動観察, 演奏観察】 ◆曲想と歌詞の内容やリズム、旋律の特徴、強弱、音の重なりとの関わりについて理解している。 【知① 発言内容, 演奏観察】  ◆リズム、旋律の特徴、強弱、音の重なりを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。 【思・判・表① ワークシート, 発言内容】 ◆自然で無理のない響きのある歌い方で、声を合わせて歌う技能を身に付けて歌っている。 【技② 演奏聴取】
曲想の移り変わりを味わいながらききましょう。	♪ハンガリー舞曲 第5番	3       4	●旋律の反復や変化に気を付けて聴く。      ●音楽に合わせて指揮のまねなどをしながら、速度や強弱、旋律の変化が生み出す曲想を味わって聴く。	◆曲想及びその変化と、速度、旋律の反復や変化、強弱、調との関わりについて興味・関心をもち、曲想の移り変わりを味わいながら聴く学習に主体的に取り組もうとしている。 【態② 行動観察, 発言内容】 ◆曲想及びその変化と、速度、旋律の反復や変化、強弱、調との関わりについて理解している。 【知③ 行動観察, 発言内容】  ◆曲想及びその変化と、速度、旋律の反復や変化、強弱、調との関わりについて理解したことを生かしながら、曲や演奏のよさなどを見だし、曲全体を味わって聴いている。 【思・判・表② 行動観察, ワークシート】
曲想を生かして合奏しましょう。	◇風を切って	5      6      7	●曲全体の感じをつかんで①と②のパートを演奏する。 ●各パートの特徴や役割を考え、楽器を選んで演奏する。    ●曲想にふさわしい表現を工夫して合奏する。    ●パートの役割に合った楽器を組み合わせ、曲想を生かした表現で合奏する。	◆曲想と音色、速度、旋律の特徴、音の重なりなどとの関わりについて理解している。 【知④ 発言内容, 行動観察】  ◆音色、速度、旋律の反復や変化、強弱、音の重なりを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら聴き、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。 【思・判・表③ 発言内容, 演奏観察, 付箋紙】  ◆思いや意図に合った表現をするために必要な、音色や響きに気を付けて演奏する技能や、各声部の楽器の音や全体の響きを聴いて音を合わせて演奏する技能を身に付けて演奏している。 【技⑤ 演奏聴取, 発言内容】 ◆パートの役割や旋律の特徴に合う楽器を選び、豊かな響きで合奏することに興味・関心をもち、友達と協働して曲想を生かした演奏を工夫する学習に主体的に取り組もうとしている。 【態③ 行動観察, 発言内容, 演奏聴取】

題材名	6. 詩と音楽の関わりを味わおう	扱い時数のめやす
		<b>5時間</b>
題材の目標	<p>(1) 旋律、強弱、音の重なりなどと曲想との関わりについて理解し、日本語の美しさを生かして歌うために必要な、呼吸や発音の仕方に気を付けて自然で無理のない響きのある歌い方で歌う技能を身に付ける。</p> <p>(2) 歌詞と旋律が一体となって生み出す曲想を味わって、曲や演奏のよさを見いだしながら聴いたり、歌詞や曲の特徴について考えながら歌い方を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもったりする。</p> <p>(3) 歌詞と旋律との関わりが生み出す曲や演奏のよさなどについて話し合ったり、曲想を味わいながらどのように歌うかについて発表し合ったりする活動を通して、詩と音楽の関わりへの興味・関心を深める。</p>	
題材の意図		
<p>我が国には、歌い継いでいきたい優れた歌曲や合唱曲などが多くあり、それらは日本語の美しい歌詞と、言葉のもつ語感を大切にしておつくりられた旋律とが一体となって、歌う人や聴く人の心を捉えます。</p> <p>この題材では、5年生 題材6「詩と音楽の関わりを味わおう」で学習したことを生かして、歌詞と旋律が一体となって生み出す曲想を感じ取りながら聴いたり、言葉のまとまりや語感を生かして歌ったりすることができるように学習を進めます。また、歌詞を音読して作詞者の思いを感じ取ったり、曲に込められた作曲者の意図を考えたりして、歌詞と旋律が一体となった表現の仕方を友達と意見交流しながら工夫していきます。その際、各グループでどのように表現したいかを発表し合い、ほかのグループのよさを自分たちの演奏にも取り入れ、表現の仕方を深めていきましょう。</p> <p>鑑賞教材として配置されている滝 廉太郎の「花」、「箱根八里」、「荒城の月」、さらに共通教材の「ふるさと」の歌詞には、小学生にとって理解が難しい言葉も含まれています。教科書を参考にして歌詞の内容を理解するとともに、音読を通して言葉のもつリズムやアクセントを感じ取り、その情景を思い浮かべながら曲想を味わって聴いたり歌ったりして、日本語の美しさを味わうようにしましょう。</p>		
学習指導要領との関連		
<p>A表現 (1)歌唱<b>ア</b>、<b>イ</b>、<b>ウ</b>(イ)(ウ)</p> <p>B鑑賞 <b>ア</b>、<b>イ</b></p> <p>[共通事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本題材で主に扱う音楽を形づくっている要素                     <ul style="list-style-type: none"> <li><b>ア</b> 音色、速度、旋律、強弱、<b>音の重なり</b></li> <li><b>イ</b> 変化</li> </ul> </li> </ul>		

※本題材で主に扱う音楽を形づくっている要素のうち、アは音楽を特徴付けている要素、イは音楽の仕組み、核となるものについては、**太字**で示しています。

題材の評価規準		
知識・技能(知・技)	思考・判断・表現(思・判・表)	主体的に学習に取り組む態度(態)
<p>① 曲想及びその変化と、声の音色や合唱の響きの違い、歌詞の内容などとの関わりについて理解している。</p> <p>② 曲想と歌詞の内容、旋律の特徴、強弱、音の重なり、変化との関わりについて理解し、呼吸や発音の仕方に気を付けて、自然で無理のない、響きのある歌い方で歌う技能を身に付けて歌っている。</p> <p>③ 思いや意図に合った表現をするために必要な、各声部の歌声や三部合唱の響きを聴いて、声を合わせて歌う技能を身に付けて歌っている。</p>	<p>① 曲想及びその変化と、歌詞の内容や速度、旋律、強弱、音の重なりとの関わりについて考え、曲や演奏のよさなどを見だし、日本の歌の詩や旋律の美しさ、曲全体を味わって聴いている。</p> <p>② 歌詞の内容や旋律の特徴、強弱、音の重なり、変化を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。</p>	<p>① 言葉の感じと旋律の関わりについて興味・関心をもち、日本の歌を聴く学習に主体的・協働的に取り組もうとしている。</p> <p>② 人々が大切にしてきた歌を味わい、詩と音楽の関わりについて興味・関心を深め、友達と協働して、曲の特徴にふさわしい表現を工夫する学習に主体的に取り組もうとしている。</p>

学習目標	教材名 ○…歌唱 ◇…器楽 ☆…音楽づくり ♪…鑑賞 (共)…共通教材	の 扱 い 時 数	●学習内容	◆評価規準【評価方法】
言葉と旋律の美しさを感じ取りながら、日本の歌を味わいましょう。	♪花 ♪箱根八里／荒城の月	1    2	<ul style="list-style-type: none"> <li>●「花」の歌詞や旋律について感じたことを基に、曲全体のよさを感じ取って聴く。</li> <li>●作曲家「滝 廉太郎」について知り、「花」の歌詞の言葉と旋律が結び付いたよさを味わって聴く。</li> <li>●「箱根八里」と「荒城の月」を聴き、歌詞の言葉と旋律が結び付いた日本の歌のよさを感じ取る。</li> <li>●合唱の演奏形態の違いによる日本の歌の魅力を感じ取って聴く。</li> </ul>	<p>◆曲想及びその変化と、歌詞の内容や速度、旋律、強弱、音の重なりとの関わりについて考え、曲や演奏のよさなどを見いだし、日本の歌の詩や旋律の美しさ、曲全体を味わって聴いている。 【思・判・表① ワークシート、行動観察、発言内容】</p> <p>◆曲想及びその変化と、声の音色や合唱の響きの違い、歌詞の内容などとの関わりについて理解している。 【知① ワークシート、紹介文の内容、発言内容】</p> <p>◆言葉の感じと旋律の関わりについて興味・関心を持ち、日本の歌を聴く学習に主体的・協働的に取り組もうとしている。 【態① 発言内容、行動観察】</p>
人々が大切にしてきた歌を味わい、思いが伝わるように歌いましょう。	(共)ふるさと	3  4  5	<ul style="list-style-type: none"> <li>●曲全体の感じをつかみ、歌詞の表す情景や気持ちを想像しながら、主な旋律や副次的な旋律の特徴や役割を捉えて歌う。</li> <li>●歌詞の内容や曲想を生かした表現を工夫し、三部合唱する。</li> <li>●家族や地域の人々にインタビューしたことを発表し合い、自分たちの表現への思いや工夫を見直す。 ※地域や学校の実態に応じて取り扱ってください。</li> <li>●思いや意図を生かした表現になっているか確かめながら、互いの演奏を聴き合う。</li> <li>●教科書 P. 47 の「音楽が人と人をつなぐ」を参考にして、様々な事例を知り、日々の生活と音楽との結び付きについて気付きを深める。</li> </ul>	<p>◆曲想と歌詞の内容、旋律の特徴、強弱、音の重なり、変化との関わりについて理解し、呼吸や発音の仕方に気を付けて、自然で無理のない、響きのある歌い方で歌う技能を身に付けて歌っている。 【知・技② 発言内容、演奏観察、演奏聴取】</p> <p>◆歌詞の内容や旋律の特徴、強弱、音の重なり、変化を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。 【思・判・表② 発言内容、ワークシート、演奏聴取】</p> <p>◆思いや意図に合った表現をするために必要な、各声部の歌声や三部合唱の響きを聴いて、声を合わせて歌う技能を身に付けて歌っている。 【技③ 演奏聴取、演奏観察】</p> <p>◆人々が大切にしてきた歌を味わい、詩と音楽の関わりについて興味・関心を深め、友達と協働して、曲の特徴にふさわしい表現を工夫する学習に主体的に取り組もうとしている。 【態② ワークシート、発言内容】</p>

題材名	7. 日本や世界の音楽に親しもう	扱い時数のめやす
		<b>4時間</b>
題材の目標	<p>(1) 音色や旋律などと曲想との関わりについて理解し、日本に古くから伝わる歌の特徴に気を付けて自然で無理のない歌い方で歌う技能を身に付ける。</p> <p>(2) 楽器の音色や旋律、音の重なり、拍と曲想との関わりについて考え、日本や世界のいろいろな国の音楽のよさなどを見いだしながら聴いたり、日本に古くから伝わる歌の特徴を生かし、どのように歌うかについて思いや意図をもったりする。</p> <p>(3) 日本や世界のいろいろな国の音楽の特徴を味わって、聴いたり歌ったりする学習に主体的に取り組み、それらの音楽への興味・関心を広げる。</p>	
題材の意図	<p><b>5</b>年生までに、わらべうたを始めとして、郷土に伝わるお囃子や民謡、和楽器による音楽など、様々な種類の我が国や郷土の音楽に親しんできました。</p> <p>本題材では、我が国に長く受け継がれてきた伝統や文化に親しみ、そのよさを感じ取ることができるように、歌唱と鑑賞を関連させながら学習を進めます。</p> <p>また、諸外国に伝わる音楽も鑑賞し、それぞれの音楽には、風土や民族性によって育まれてきた独自の文化があり、我が国とは違った音楽文化があることに気付くとともに、それぞれの国の音楽のよさを感じ取ることによって親しみを持ち、身近なものにしていくようにします。こうした学習は、自国の芸術や文化に誇りをもつだけでなく、他国の芸術や文化を尊重する態度を養うことにもつながり、国際理解の一翼を担うものです。そして、音楽の特徴をその背景となる文化・歴史やほかの芸術と関連付けて行われる中学校の鑑賞学習にもつながります。</p>	
学習指導要領との関連	<p>A表現 (1) 歌唱<b>ア</b>、<b>イ</b>、<b>ウ(ア)</b> (<b>イ</b>)</p> <p>B鑑賞 <b>ア</b>、<b>イ</b></p> <p>[共通事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本題材で主に扱う音楽を形づくっている要素</li> </ul> <p><b>ア</b> <b>音色</b>、<b>旋律</b>、<b>音の重なり</b>、<b>拍</b></p>	

※本題材で主に扱う音楽を形づくっている要素のうち、アは音楽を特徴付けている要素、イは音楽の仕組み、核となるものについては、**太字**で示しています。

題材の評価規準		
知識・技能（知・技）	思考・判断・表現（思・判・表）	主体的に学習に取り組む態度（態）
<p>①曲想及びその変化と、音色、旋律の特徴などとの関わりについて理解している。</p> <p>②曲想と音色、旋律の特徴などとの関わりについて理解し、範唱を聴いて歌ったり、呼吸や発音の仕方に気を付けて歌ったりする技能を身に付けて歌っている。</p> <p>③曲想及びその変化と、楽器の音色、旋律の特徴、音の重なり、拍の関わりについて理解している。</p>	<p>①雅楽の楽器の音色、旋律の特徴を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと聞き取ったこととの関わりについて考え、曲や演奏のよさなどを見だし、曲全体を味わって聴いている。</p> <p>②曲想と歌詞の内容や音色、旋律の特徴を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと聞き取ったこととの関わりについて考え、日本に古くから伝わる歌の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。</p> <p>③世界の国々の楽器や声の音色、旋律の特徴、音の重なり、拍などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと聞き取ったこととの関わりについて考え、曲や演奏のよさなどを見だし、世界の国々の音楽を味わって聴いている。</p>	<p>①日本に古くから伝わる音楽や世界の国々の音楽に興味・関心を持ち、それぞれの音楽の特徴や雰囲気について自分の考えを伝えたり、歌ったり、友達の考えも含めて音楽を聴いたりする学習に主体的・協働的に取り組もうとしていく。</p>

学習目標	教材名 ○…歌唱 ◇…器楽 ☆…音楽づくり ♪…鑑賞 (共)…共通教材	扱 い 時 数	●学習内容	◆評価規準【評価方法】
日本に古くから伝わる音楽に親しみましょう。	(共)越天楽今様 ♪雅楽「越天楽」	1    2	●雅楽「越天楽」を聴き、楽器の音色や曲想を感じ取る。   ●「越天楽今様」の歌詞の内容を理解し、発音や発声に気を付けて歌う。   ●日本に古くから伝わる旋律の動きを生かした歌い方を工夫して歌う。	◆曲想及びその変化と、音色、旋律の特徴などとの関わりについて理解している。 【知① 発言内容、ワークシート】 ◆雅楽の楽器の音色、旋律の特徴を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲や演奏のよさなどを見だし、曲全体を味わって聴いている。 【思・判・表① ワークシート、発言内容、行動観察】 ◆曲想と歌詞の内容や音色、旋律の特徴を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、日本に古くから伝わる歌の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。 【思・判・表② 発言内容、演奏聴取】 ◆曲想と音色、旋律の特徴などとの関わりについて理解し、範唱を聴いて歌ったり、呼吸や発音の仕方に気を付けて歌ったりする技能を身に付けて歌っている。 【知・技② 演奏観察、演奏聴取】
世界のいろいろな国の音楽に親しみましょう。	♪世界の国々の音楽	3   4	●様々な国の楽器やその音色に関心をもって聴く。 ●それぞれの国の楽器の音色や旋律の特徴などの違いを感じ取る。   ●それぞれの国の音楽の特徴や雰囲気の違いを比べながら聴く。	◆曲想及びその変化と、楽器の音色、旋律の特徴、音の重なり、拍との関わりについて理解している。 【知③ 発言内容、行動観察】 ◆世界の国々の楽器や声の音色、旋律の特徴、音の重なり、拍などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲や演奏のよさなどを見だし、世界の国々の音楽を味わって聴いている。 【思・判・表③ 発言内容、行動観察、ワークシート】 ◆日本に古くから伝わる音楽や世界の国々の音楽に興味・関心をもち、それぞれの音楽の特徴や雰囲気について自分の考えを伝えたり、歌ったり、友達の考えも含めて音楽を聴いたりする学習に主体的・協働的に取り組もうとしている。 【態① 発言内容、行動観察、ワークシート】

題材名	8. 音楽で思いを伝えよう	扱い時数のめやす
		<b>6時間</b>
題材の目標	<p>(1) 旋律、音の重なりや歌詞の内容などと曲想との関わりについて理解し、言葉や旋律のまとまりを大切に歌ったり、重なり合う声の響きに気を付けて歌ったりする技能を身に付ける。</p> <p>(2) 曲想と歌詞の内容、旋律、強弱、音の重なりやフレーズとの関わりについて考え、思いが伝わるように曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもつ。</p> <p>(3) 歌詞の表す気持ちが伝わるように、友達と話し合ったり歌い方を試したりしながら曲想を生かした表現を工夫し、感謝の気持ちを込めて歌う学習に主体的に取り組む。</p>	
題材の意図		
<p>高学年になった子供は、自分の思いや意図が聴き手に伝わるように表現したいという意欲も高まっています。そうした子供の実態に合わせて、卒業式を控えた6年生最後のこの題材では、歌唱表現を工夫する際に、自分の思いや意図の根拠を曲の特徴に求めつつ、歌詞の内容と曲想との関わりを考えたり、具体的に思いを伝えたい聴き手の存在を想像したりしながら、表現を工夫する学習を進めていきます。</p> <p>曲想や歌詞の表すイメージをしっかりとつかみ、それらを表現に生かすために、今までに学習してきたことをどのように活用していけばよいのかを話し合い、表現に結び付けていくようにします。</p> <p>みんなで声や気持ちを合わせて表現する喜びや、ともに音楽をつくり上げていく喜びを味わいながら、表現の質を高めて小学校の音楽学習を締めくくるようにしましょう。</p>		
学習指導要領との関連		
<p>A表現 (1) 歌唱ア, イ, ウ(ア)(イ)(ウ)</p> <p>〔共通事項〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本題材で主に扱う音楽を形づくっている要素 ア <b>旋律</b>, <b>強弱</b>, <b>音の重なり</b>, <b>フレーズ</b></li> </ul>		

※本題材で主に扱う音楽を形づくっている要素のうち、アは音楽を特徴付けている要素、イは音楽の仕組み、核となるものについては、**太字**で示しています。

題材の評価規準		
知識・技能(知・技)	思考・判断・表現(思・判・表)	主体的に学習に取り組む態度(態)
<p>① 曲想と歌詞の内容や旋律、音の重なり、フレーズなどとの関わりについて理解している。</p> <p>② 思いや意図に合った表現をするために必要な、響きのある歌い方で歌ったり、各声部の歌声や全体の響き、伴奏を聴いて、声を合わせて歌ったりする技能を身に付けて歌っている。</p> <p>③ 曲想と歌詞の内容や強弱、旋律の重なり方との関わりについて理解し、呼吸や発音の仕方に気を付けて、響きのある声で歌う技能を身に付けて歌っている。</p>	<p>① 旋律、強弱、音の重なり、フレーズを<b>聴き取り</b>、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。</p> <p>② 旋律、強弱、音の重なりを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。</p>	<p>① 言葉のまとまりとフレーズとの関わりについて興味・関心を持ち、歌詞の表す気持ちが伝わるように友達と声を合わせて歌う学習に主体的に取り組もうとしている。</p> <p>② これまでに学習してきたことを生かして、音楽で思いを伝えることに興味・関心を深め、友達と協働して、表情豊かに歌ったり、感謝の気持ちを込めて歌ったりする学習に主体的に取り組もうとしている。</p>



